

ま

や訓練風景

船体整備

ドックでは、もちろん故障の修理も行いますが、乗員と業者が力を合わせて、船体整備をしています。船体は鉄でできていますので、塩水と極めて相性が悪く、放っておくとすぐにサビてしまいます。サビを放置すると**鉄板に穴が開いてしまう**こともあるので、サビを削ってサビ止め塗装を実施する必要があります。

まずは、使用する工具をみていきましょう。

各種工具



チッパー（狭い面の塗装やサビを「叩いて」落とす工具）



ジェットー（広い面の塗装やサビを「叩いて」落とす工具）

上の2つの工具でサビを取り除き、下の2つの工具で鉄板を磨いて、塗装カスなどを落としていきます。



ワイヤーブラシ（狭い場所用）



ワイヤーブラシ（広い場所用）

上記は全て、電動ではなく、空気の力で駆動する工具です。ワイヤーブラシでチマチマ磨くより、ジェットーやチッパーでサビをガンガン叩きまくる方が好きな人が多い……ような気がします。



↑それでは工具を装備して、
レッツ サビ落とし！



← まずは、「チッパー」
や「ジェッター」を使用
して、サビている箇所を
叩いてペンキとサビを
落とします。

「ガガガガッ！！」
と、かなり大きな音が
するので、耳栓必須
です。



ペンキのカスやサビも
弾け飛んでくるので、
必ず保護ゴーグルを
装着して工具を取り
扱います。



叩いた箇所は、デコボコしていたりサビが残っていたりするので、「ワイヤーブラシ」で表面を綺麗にします。



← 最後に、サビ止め塗料とペンキを塗って完成です。

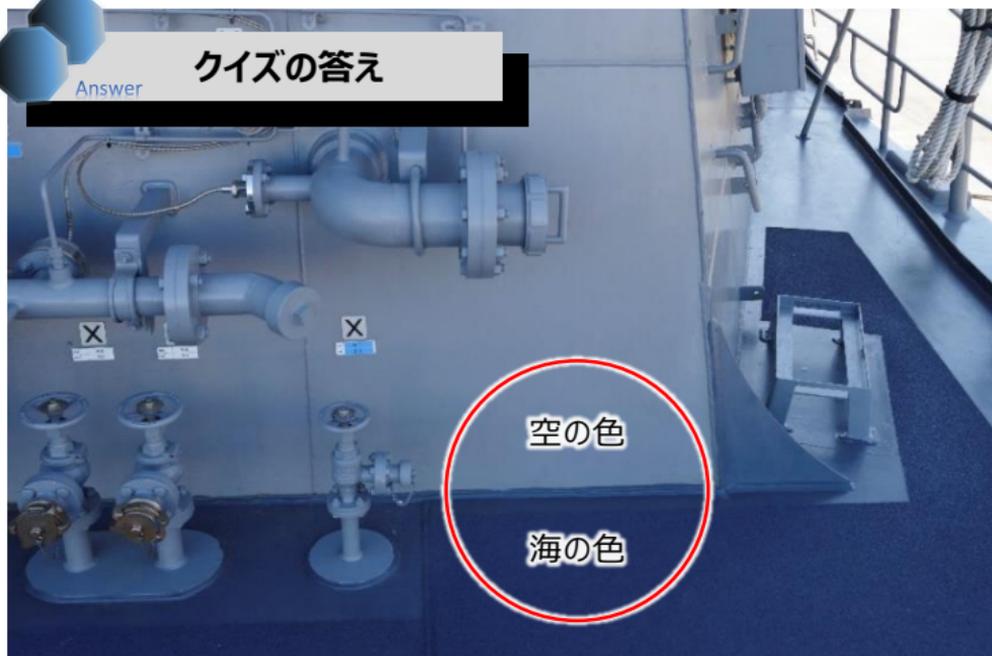
★まやクイズ★
よく見ると、護衛艦は「床と壁の色」が微妙に違います。
なぜでしょう？

(正解は次のページ)



なんということでしょう。
こんなに綺麗になりました。

クイズの答え



このように、「壁の色」と「床の色」は微妙に違う色が使用されています。これは、相手から発見されにくくするために、「壁の色は空の色」、「床の色は海の色」に近くなるように塗装しています。つまり、相手船から「まや」を見たときは、壁の色が空に溶け込んでしまい見えづらく、相手航空機から「まや」を見下ろした時は、床の色が海の色に溶け込んでしまい見えづらくなる、という寸法です。

護衛艦を見学する機会があれば、是非見てみて下さい。

